

2022年11月30日

アゼルバイジャン初のベンチャーファンド設立

29日、バクーにて当国初のベンチャーファンド設立の発表がなされました。ファンドの概要について以下お知らせします。

<ファンド概要>

①ファンド名:コーカサスベンチャーズ(Caucasus Ventures)

②ファンド責任者:マムド・カリム氏(Khazar Ventures Fund 社長)

③ファンドサイズ:1130万マナト(660万米ドル)(※1)

(※1)カリム氏曰く、投資家から資金を得てファンドサイズを2000万~3000万マナト(12万~18万米ドル)にしたいと考えているとのこと。

④出資者:

イノベーション・デジタル開発庁 500万マナト(290万米ドル)

パシャ・ホールディングス 500万マナト(290万米ドル)

個人事業者(6社) 130万マナト(76万米ドル)

⑤投資期間:5年間(※2)

(※2)カリム氏曰く、3年以内に全額投資し、リターン次第ではあるものの2号、3号ファンドの組成も考えているとのこと。

⑥投資ステージ:シード、アーリー

⑦投資分野:医療、教育、フィンテック、クラウド技術・AI・モバイルテクノロジー

⑧投資対象地域:アゼルバイジャン、ジョージア、トルコ、中央アジア及び東欧の合計10か国(※3)

(※3)ファンドの2/3をアゼルバイジャン、1/3を海外に投資する予定

本ファンド設立を契機に国内外から民間資金が供給され、イノベーションを支えるエコシステムの構築に繋がることが期待されます。

ナビエフ・デジタル開発運輸大臣は、本ファンドへの出資等の関心を持つ日本企業等があれば歓迎したい旨述べています。ファンド出資を通じ、企業・ビジネス情報収集、投資先スタートアップとの連携等、アゼルバイジャン・ビジネスの新たな展望が拓けるものと考えられます。当館でも本ファンドを巡る動向についてフォローして参りますので、お問い合わせ等ございましたら当館までお気軽に連絡ください。

(以上)